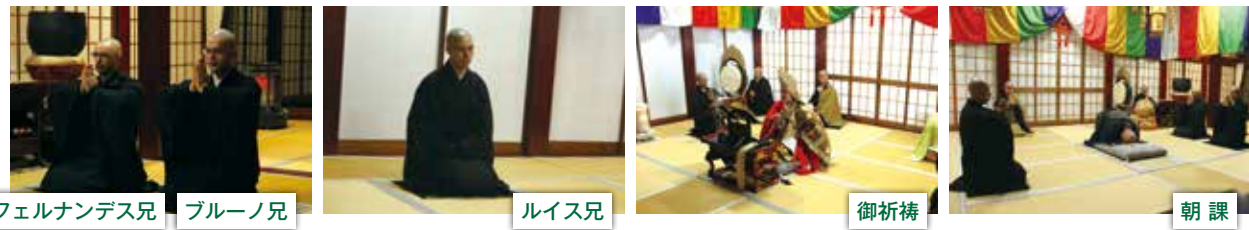


囲炉裏で雑談

龍源寺報

74号



フェルナンデス兄

ブルーノ兄

ルイス兄

御祈祷

朝課

..... 大本山總持寺よりブラジル人雲水来山

二月八〜十日の三日間、大本山總持寺より修行僧が来山いたしました。雪国の禅寺を体験するという事で、ブラジル人の方々でした。六〜八日までは南魚沼市の雲洞庵さまに滞在してからの龍源寺来山です。現役の修行僧でございますので、本山修行時代に思いを馳せながらたくさんのお話をさせていただきました。みなさん日本の文化に大きな興味をもととお持ちで、特に日本文化と密接な関わりのある禅宗に対する傾倒を感じました。改めて日本人が特に意識をしていないところを素直に意識することが再認識いたしました。津南のおいしいご飯もたくさん食べてもらい、二泊三日間の龍源寺での研修を終え、本山の帰路へつきました。皆様の法身堅固を祈念いたします。



米原公民館にて

..... ころの健康作り講演会〜命と心の法話〜

この二〜三年、津南町役場福祉保健課からの依頼により、ころの健康づくり講演会というものを勤めさせていただいています。毎年津南町の公民館三ヶ所で行われており、今年も龍源寺副住職の他にも近隣若手僧侶により「いのちところの法話〜命の大切さを皆で考えよう〜」という内容で講演会が勤まりました。平成二十七年の新潟県の自死死亡率は全国ワースト五位、県内においては十日町・魚沼圏域の自死率が高く、特に高齢者が半数以上を占めるそうです。講演をきっかけに自身の命や存在を大切に思うことができるように、ということに私たちに白

羽の矢がたったわけでございます。保健師さんによる個別相談・血圧測定、保健師さんによるうつ病に関する講話もこの講演会の中では勤まっています。町内においても若い方の自死未遂が多いそうで、町とお寺で協力して何か活動ができればという話にもなりました。今年は米原地区での講演でしたが、皆様真剣に耳を傾けてくれて、いろいろ考えるところがあったように見受けられました。地道な活動ではございますが、少しでもいい結果につながればと思います。昔から「駆け込み寺」という言葉もあります。お寺としても何かいい形が作ればと考えています。

編集発行 深見山 龍源寺

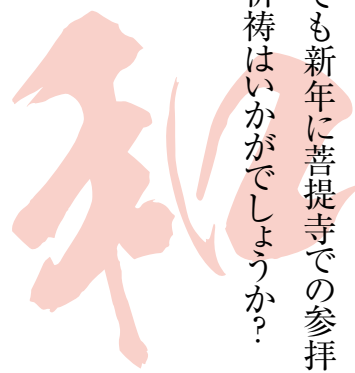
〒949-8311 新潟県中魚沼郡津南町中深見乙1118番地
☎(025)765-3055 <http://www.shinkenzan.com>



富沢塗装店の皆様

龍源寺檀信徒業者新年祈禱

新年を迎えて、改めて初心にかえり、謙虚な気持ちで、志を新たに…。新年にお寺へいらつしやる檀信徒の皆様は、気持ちは人それぞれであると思いますが、近年は龍源寺檀信徒経営の業者さんも皆様でお寺にみえ、新年のご祈禱が勤まっています。神仏に祈るといって行為は自分の心に誓いをたてることでもあります。俺が、私、が、という「が(我)」から少し心をおく行為です。我から距離を少しおくことで日本人が大切にしている「和」の精神に近づきます。業者の皆様、今年一度社内の「和」を新たにする意味でも新年に菩提寺での参拝、ご祈禱はいかがでしょう？



だんごまき

だんごまきと震災慰霊法要



涅槃会・慰霊法要

三月十二日、例年行われるだんごまきに合わせ、東日本大震災慰霊法要が勤まりました。今年で七回忌。お釈迦様の涅槃会法要に引き続き慰霊法要。十二日には十日町でも慰霊法要が勤まりました。こちらは毎年地元曹洞宗青年会に依頼があります。供養ということの大切さを毎回思い知らされます。大いなる自然の前に今一度謙虚な気持ちを持ち、今ある命の大切さを改めて認識させてくれるのもこの震災慰霊法要であると感じています。犠牲者の皆様に今一度合掌。



徳不孤

とくはこならず

「徳不孤 必有隣」(徳は孤ならず 必ず隣有り)という論語にみえる孔子の言葉に基づく言葉です。徳のある人格者は孤独になることはなく、その周囲には必ず志を同じくする人々が集まってくる、という意味になるそうです。

徳や志という言葉自体が現代においてはある種の死語だと考える人も多いかもしれませんが、損得を考え、利益に結びつくことでなければ行動を起こすことに

値しないという世の中かもしれないかもしれません。個人主義に伴う自己責任と自己決定の時代に入りつつあるようですが、従来のムラ社会やイエ社会も都市部を中心に完全に崩壊しています。徳は孤ならず、という言葉は今一度日本人の「和」の精神を考えさせてくれるものではないでしょうか。人と人との「和」がもたらす力こそが日本人の強さのように感じます。聖徳太子の十七条の憲法第一条で有名な「和をもって貴しとなす」です。

仏教では陰徳を積むということとを大切にします。この孔子の言葉と陰徳を積むということ、よくよく参究実践に値することではないでしょうか。技能や技術を磨くだけではなく、人格を磨くということも大切にしたいところです。